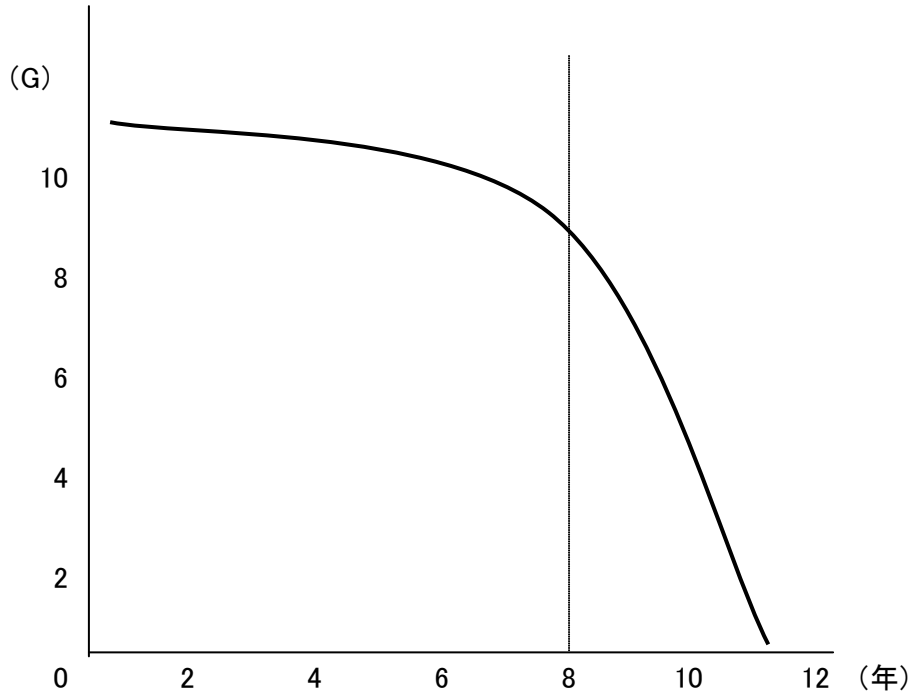


レスキューパラシュートの正しい理解と使用方法について

DHV（ドイツハンググライディング連盟）によるレスパラの経年劣化テストデータ



約8年を境に劣化が急速に始まり、12年では2kgのG（加重）で簡単に裂ける

レスキューシステム

ヨーロッパでは年間30人くらいが開傘

いつ使用した？

40% コラップスからクラバット後、スパイラルダイブに入り

40% 衝突 ソアリング中、ランディングアプローチ中

10% 勝手に出た

10% 不明

その人たちが投げた高さ 150m～50m ぎりぎり～遅い。

早く開くためには

① リパックはいつなされたか

② どのくらいの手でフリースペースへ投げ込むか（キャノピーに投げたらダメ）

半年前にリパックしたなら6秒後開傘

1ヶ月で1秒開傘が遅れると思うこと。

チェックリスト

投げる時を気づく

迷ったら投げろ！

グリップを見る

しっかり握る

① そのまま引き抜く

出来る限り強く

② 抜いたら目視

勢いよく投げる

① と②の過程を確実に行うことが大切

放すだけでは△ 投げると開傘は約3倍早い

放すだけの場合スピンのタイミングと合うと、一緒に落下していくこともある

レスパラ開傘後は、着地するであろう地点を目視。

〃 キャノピーは非対称失速 or 完全に潰しお腹に抱える

着地時は、スタンディングポジションで。5点接地転倒法

開傘を早くさせる日々の作業

- テイクオフ時にいったんベロクロをはがし、またつけてからフライト。
- ベロクロを長い間はがしていないと、その分はがす時に力が必要となる。
- ブレークコードの握り方

レスキューパラシュートリパック時の注意点

- コンテナ内に砂やごみがないか
 - 長時間入ったままなら日々の小さな振動でこすられ、生地を傷つけている可能性あり。
- 絶対にぬらさないこと！
 - レスキューパラシュートの生地は湿度が大敵。冬の内外気温差による結露。

日頃から開傘のイメージトレーニングを！

普段の安定飛行中、グリップを握り数秒そのままにしてイメージ、離してまた通常飛行。